2023 年度　学校関係者評価報告書

評価対象期間　　自：2023 年４月１日

至：2024 年３月３１日

評価基準日　　2024 年４月１日

学校法人栗岡学園

阪奈中央リハビリテーション専門学校

理学療法学科／作業療法学科

学校関係者評価　評価委員

（順不同・敬称略）

委員長	米澤　泰司
委　員	大原　敏敬
委　員	宮野　博
委　員	前原　園代
委　員	川原　勲
委　員	酒井　真紀
委　員	谷川　優香

評価項目の達成および取組状況

1　教育

2　施設・設備

3　学生サービス

4　教育面などでの特筆すべき取り組み

自己評価回答責任者：

副校長	米澤　博隆
理学療法学科長	桶田　勝文
作業療法学科長	福永　宜典
事務主任	伊丹　朋子

教育分野　リハビリ

1　教　　育

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
1．カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	臨床現場で信頼される理学、作業療法士を目指し、知識、技術のみならず社会人として通用するよう指導にあたっている。	動物介在療法、スポーツリハに関連する科目などを設け、多様化する理学、作業療法士への医療・福祉・地域のニーズに対応したカリキュラムを継続して実施している。	5十分 ← 4 3ふつう → 2 1不十分	今後も教育内容の見直しを図り、学習の効率化、オンライン授業等を含め、より学生の個別性に合わせた効果的な教育手法を実施する必要がある。	○指摘事項なし。
2．カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	時代のニーズに即し、地域リハビリテーション、予防リハ、がんリハ、生活行為向上マネジメントなど現代のリハビリテーション医療に不可欠な内容をカリキュラムに反映している。	知識・技術、情意・態度のバランスのとれた人材を輩出し、現場からも高評価をいただいている。 今後も職域を拡大するため、学修内容の見直しを定期的に行うことが必要。	5十分 ← 4 3ふつう → 2 1不十分	引き続き信頼される理学、作業療法士の育成を目標とし、職域の拡大や時代の変化に対応したカリキュラムに設定する必要がある。	○特別講義等を設け、職域の拡大を目的とした講義を定期的に取り入れると良いと考える。
3．授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	新型コロナウイルスの取り扱いが5類に移行したことによって、コロナ禍以前の状態に戻すことを前提としているが、一部の臨床実習と科目において学内実習、オンライン授業となっている。	特に2学年においては過密なスケジュールとなったが、臨床実習施設の拡充とスケジュールを行い、また学内実習を組み合わせて、年度内に規程の時間数を終了させることができた。時間割に学年間の偏りがある。	5十分 ← 4 3ふつう → 2 1不十分	授業スケジュールを調整することで学生の休養期間を確保し、過度に負担を与えないよう配慮する必要がある。	○スケジュールの調整を早急に検討必要。
4．シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）	科目ごとの教授内容を明確化し、幅広い知識と技術が習得できるよう調整している。	指定規則改定により加わった新たな教授内容を盛り込んでいるが、年々変化する学生の能力に対応が追い付かないところがある。	5十分 ← 4 3ふつう → 2 1不十分	学生の能力に合わせた授業構成や学習に対するモチベーションが向上するような工夫が必要である。	○指摘事項なし。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
５．カリキュラムの見直し体制はどのようにしていますか	教育ガイドライン、臨床実習ガイドライン、各科目の受講人数有などを勘案し、一部の科目について合同授業を取り入れて教育効果の向上を進めている。	教育効果が最大限に発揮できるよう学科間で意見交換を行い、授業内容の見直し等を行っている。	5 十分 ← [4] 3 ふつう → 2 1 不十分	学科間で学修内容や到達目標の差が生じないよう情報交換し、調整を進めていく。	○指摘事項なし。
６．テキストや教材をどのような基準で採用していますか	昨今の学生の状況や国家試験の出題傾向等を考慮し、また出版社の意見なども参考にして原則、科目担当講師が厳選している。	出版社から献本を積極的に取り寄せ、学生の現状に合致したテキストを選定している。	5 十分 ← [4] 3 ふつう → 2 1 不十分	今後も学生の現状と国家試験の出題傾向などを考慮し、適切なテキストの選定を行う。学生の意見を踏まえ、購入後使用頻度の低い教科書については、改善を提案していく。	○指摘事項なし。
７．目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	原則シラバス等で到達目標が示され、各科目で求める能力を問う試験を実施している。	原則、科目ごとの単位認定は担当講師が行い、進級・卒業判定については、学科会議を経て、運営会議で最終判定がなされる。	5 十分 ← [4] 3 ふつう → 2 1 不十分	学修目標を取り入れた目標に合致しているか評価する新たに求められる能力要素があった場合には、成績評価ができるように追加する。	○学生アンケート等を利用し、最良の評価法の検討が必要。
８．学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	授業アンケート結果から、ほとんどの講師が学生の理解度に沿って授業を展開している。	学修範囲が広い科目では小テストや中間テストを実施するなどし、学生の理解度を確認しながら進めている。	5 十分 ← [4] 3 ふつう → 2 1 不十分	学生による授業アンケート結果を担当教員や講師に適宜フィードバックし、次年度に向けた講義内容の調整を行っていく。	○指摘事項なし。
９．学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	進研アド基礎カリサーチの結果に基づき、適宜学生面談を実施している。学生個々の課題を明確にして指導を行っている	カリキュラム外に適宜補修等を実施している。ただし、学生の過剰な負担にならないよう、バランスを取りながら進める必要がある。	5 十分 ← [4] 3 ふつう → 2 1 不十分	基礎カリサーチの結果を詳細に分析し、新たな学習に対する不安を軽減し、学習意欲・学習習慣を維持できるよう取り組む。	○早期より学生の学力を把握し、極力早めにサポートをしていく必要がある。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
10．マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	臨床でのマナー・身だしなみ等については普段の学校生活から適宜指導している。当校敷地内では全面禁煙とし受動喫煙防止に努めている。	入学時から社会人、医療人に求められる姿勢、態度についてきめ細かい指導を実施している。	5 十分 ← [4] 3 ふつう 2 → 1 不十分	本校の教育方針の意図を理解していただけるように努める。教職員も手本を示し、職業人としてのマナーやモラルの向上を目指していく。	○指摘事項なし。
11．教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	以下の内容に取り組んでいる ・認定理学、作業療法士取得 ・講義担当科目に関する研修会 ・学会発表 ・査読つき論文投稿 ・学位（修士、博士）取得準備	学科内で業務を調整しながら研修・研究等にかける時間を確保する。スキルアップについて各自目標設定し、セルフマネジメントを継続していきたい。	5 十分 ← [4] 3 ふつう 2 → 1 不十分	リハビリテーション医療の変化に対応した講義内容にするために計画的、積極的に学会発表、研修会参加、研究活動を実践し、教職員の質向上に努める。	○指摘事項なし。
12．学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	講義の終講時に授業アンケートを全科目に対して実施している。	評価結果は希望に応じ閲覧できるようにしている。非常勤講師が授業評価を把握する方法の改善は必要である。	5 十分 ← 4 [3] ふつう 2 → 1 不十分	今後もアンケートは継続し、さらに、教員の能力開発の一環として、専任教員、非常勤講師ともにアンケート結果をフィードバックし、講義方法等を見直す機会を作っていく。	○指摘事項なし。

2　施設・設備

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
1．教室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	教室等の部屋数や付帯設備に関しては十分である。ただ、一時期において、不足が生じることもあるが、学科間で調整を行っている。	講義棟、実習棟合わせて教室の数は十分であるが、HR 教室で単位認定試験を行うにはやや狭いため、別室で行う必要がある。視聴覚設備は充実しており、授業進行はスムーズである。実習棟の空調設備更新が必要。	5 十分 ← [4] 3 ふつう 2 → 1 不十分	単位認定試験の実施教室は、レクレーション室や大研修室を活用している。HR 教室でも試験を実施できる対策を検討する。	○指摘事項なし。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
２．図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか（有効に活用されていますか）	基準を満たした蔵書数を保有している。 メディカルオンラインを導入しており、文献検索が容易になった。	同じ建物内に図書室があるため、利便性が向上したことによって利用率が向上した。	[5] 4 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	引き続き配架を効果的に行い、利用の促進を図っていく。	○指摘事項なし。
３．実習・実験室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	実習教室については十分な数と広さがある。 検査機器、研究機器を新規購入し、学習環境が向上した。	新指定規則に必要な物品が納入され、学習環境が向上している。今後も年間購入計画を作成し補充・更新していく。	5 [4] 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	新規購入の必要な機材や更新が必要な機器の管理を徹底し、サービスが低下しないように努める。	○指摘事項なし。
４．最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか（有効に活用していますか）	各教室のプロジェクターやマイクについては利用できる環境である。	一部更新が必要な機器があるが概ね教育環境は充実している。 学内 Wi-Fi が充実し、利便性が向上した。	5 [4] 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	授業やイベント時にも対応した環境を今後も整備していく。	○指摘事項なし。
５．ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	学生寮を保有している。 学生寮はキャンパス敷地内にある。	学生寮には専任の管理者を配置している。 オートロック付きの入口で、セキュリティ面は安心である。 隣接する関連看護校の女子寮も利用できるようになり、選択の幅が増えた。	5 [4] 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	試験や国家試験前など短期での利用をできるようにしていく。	○指摘事項なし。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
６．体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	体育館、運動場ともに保有している。授業やレクレーション、また例年であれば式典で利用している。	和幸会グループのクラブ活動や、関連病院と連携し競技復帰前のスポーツ選手も活用している。芝生広場は、学生や法人の関係者をはじめ、近隣住民の方々にも開放し活用されている。 ホースセラピーを行う馬場が完成し、動物介在療法授業にも有効活用している。	[5] 十分 ← 4 3 ふつう 2 → 1 不十分	体育館は学生が普段から利用しやすいように管理・運営方法を検討している。	○指摘事項なし。

３　学生サービス

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	５段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
１．クラス担任制をとり修学に問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	担任制をとっている。問題のあった学生については、毎朝のミーティング、学科会議、運営会議等にて担任だけでなく、教職員全体で対応を心がけている。	演習・臨床実習では、全専任教員指導体制により、個々のレベルに応じ、きめ細かい教育ができている。さらに随時面談を実施し、学科全体で学生の情報を共有している。	[5] 十分 ← 4 3 ふつう 2 → 1 不十分	教員の事務業務の効率化を図り、一層の教員の指導力と資質向上に努め、学生個々のレベルに応じたきめ細かい教育を継続する。	○指摘事項なし。
２．学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	学生本人の申し出または教員が必要と認められた場合は関連施設の臨床心理士のカウンセリングを推奨している。	臨床心理士と教員が連携し、担任だけでは対応しかねる問題のある学生については、臨床心理士に対応を委ねることもある。	[5] 十分 ← 4 3 ふつう 2 → 1 不十分	現状では十分な環境が整っていると思われる。	○指摘事項なし。

項　目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策	委員からの指摘事項
3.教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	大学生ホール、小学生ホールを2部屋、また、各所に椅子やソファーが設置されており、休憩時間や自習時に学生が有効利用している。	学生用スペースとしては広く、充実している。	[5] 4 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	照明が暗い傾向にあり、点灯していない時間があるなどの部分を改善できるよう、働きかけを続けていきたい。	修復が必要な個所は改善が必要。
4．食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	食事場所は原則教室と学生ホールを開放している。 学内に売店はないが、弁当の注文販売を行っている。 また、2023 年度からは月に一度キッチンカーが来校し、食事の選択肢がさらに増加した。	弁当と自動販売機によって購入の選択肢を広げている。自動販売機の商品はカップ麺や菓子パンの他、お菓子などを販売している。 キッチンカーは学生から好評を得ており、継続していく。	[5] 4 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	食事場所のスペースは十分であるが、感染対策のアクリルパーテーションなどがあると良い。自動販売機の商品の種類や価格については随時検討していく。 学外ではあるが徒歩圏内にドラッグストア、コンビニエンスストアもあり、利便性は向上している。	○指摘事項なし。
5．学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	独自の支援制度としては、診療費補助制度や特別学費支援制度、家族割引制度がある。	一般病院から、またその他奨学金の案内をいただいた際は、随時掲示にて学生に連絡を行っている。	5 [4] 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	日本学生支援機構や一般病院等の奨学金に加え、高等教育無償化認可校となっている。	○指摘事項なし。
6.その他	カリキュラム改正で理学療法学科、作業療法学科ともに科目を新設し、学生の自主性に任せていた国家試験対策を最低限必要な内容は教員主導で指導している。	模擬試験過去問ライセンス契約で学内模試の回数を増やし、スマートフォンで学習できるプログラム等を契約することで、教員が学修状況を把握し、個別指導を行う環境を整備した。	5 [4] 3 2 1 十分 ← ふつう → 不十分	学生の学修状況に応じて、個別性に特化した対応を取り入れる必要がある。なお、カリキュラム外での時間の使い方について学生に説明し同意を得た上で、その必要性を共有することも重要である。	○指摘事項なし。

４　教育面などでの特筆すべき取り組み（自由記入）

※学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組みがあれば記入ください。

①多様な教育方法の活用：講義だけではなく、ディスカッション、グループワーク、シミュレーション、などさまざまな手法を組み合わせ、効果的な学習環境を提供しています。

②個別指導やキャリアサポート：卒業後も学生一人ひとりの成長が期待できるよう、個別指導やキャリアサポートが提供されています。学生自身の興味や能力に合わせた学習機会を提供し、将来に向けて準備できるよう努めています。

③近隣に関連法人を持つ学校法人という強みを活かし、一人一人の学生の状況に合わせた実践的な学びが経験できるよう連携・調整しています。

④高校、大学クラブチームのフィジカルチェックに教員とともに学生が参加することで当校　理学療法学科の特徴が明確になってきた。

⑤学校祭をはじめ、交流会、球技大会などの学科を超えた交流行事や、ハロウィンやクリスマスなどのイベントも積極的に取り入れ、学生満足度の向上につながっている。

5　その他委員からの質問・指摘事項

○学生募集は広域にわたって力を入れているのか？

→寮がある強みを生かし、遠方の高校も訪問している。事務だけでなく教員も全員が高校訪問に出向き、直接先生と顔を合わせて話すことを大切にしている。

入学生がいる高校には必ず報告も兼ねて訪問している。

○スポーツの現場、高校の運動部に出向いて理学療法の魅力を知ってもらうことはできないのか？

→高校や大学の部活動には数か所出向いている。この先も増やしていきたい。

○卒後教育、OB 会や卒業生のネットワークをもっと強くしてはどうか？

→今年度、OB 会で月一回の勉強会を実施する。卒業生に広く声をかけて参加を募り、ネットワークを広げていきたい。

○作業療法士は大変魅力があるのに認知度が低い。入口のハードルを広げ、コース選択制の導入は検討できないのか？

変化の激しい時代は、進路を絞らない傾向にある。今の時代は、進路の幅を広く、また軌道修正出来ることがプラスに捉えられる。

→制度的なところでコース選択は簡単に導入できることではないが、転科など軌道修正がしやすい制度を現在検討している。